



ライフプランナー
相続診断士

土屋 敬 (つちや たかし)

山形生まれ。退職金の活用や老後資金の準備、マイホームの購入・改築時の資金計画、相続対策等、年間200世帯以上のライフプランニングを行なっている。好きなものは「ビール」と「美味しい食べ物」。ファイナンシャルプランナー、トータル・ライフ・コンサルタント、住宅ローンアドバイザー等。2016 MDRT 成績資格会員(11~)。



今月は

数字で見るセカンドライフ

8.8 万人

介護で燃え尽きないために…。ケアプランだけでなく、介護者自身のライフプランも大切です。

日本の総人口は1億2711万人（平成27年10月1日現在）と減少傾向にある一方で、高齢化率（総人口に占める65歳以上の割合）は26.7%と、過去最高を更新（※1）。10年後には30%を超える見通しとなっており、家族を介護するために離職せざるを得ない労働者の増加が懸念されています。

厚生労働省の調査（※2）によると、平成26年に「介護・看護」を理由に離職した人は、約8.8万人。男性が約1.3万人、女性が約7.5万人で、介護・看護による離職者の8割以上が女性であることがわかります。さらに年齢別に見てみると、男性は50歳代後半が最も多いのに対し、女性は40歳代前半から介護・看護による離職者数が急増しています。

労働の多様化により、正社員や契約社員、派遣社員、アルバイトなど、さまざまな雇用形態が存在しますが、働く女性の半数以上はパートやアルバイトなどの非正規雇用です（※3）。日中は外部の介護サービス等を利用していたとしても、突発的な事態が起きれば、仕事を抜けることもあります。家に帰れ

ば介護だけでなく、家事、そして育児も…。家計の主な担い手である場合が多い男性より、家計補助的にパートなどに就いている女性が、介護のために離職している状況が推測できます。

介護や支援が必要になった主な原因として最も多いのが、脳卒中等の「脳血管疾患」です（※4）。いつ起こるかかわからない、いつまで続くかわからない、これが介護なんですね。大切なご家族や身近な人が突然、介護を必要とする状態になったら…。まずは、お住まいの地域の「地域包括支援センター」や市町村の介護保険課などが相談先になりますが、同時に忘れてはいけないのが、ご自身（介護する人）のライフプランです。仕事を辞めるということは、日々の暮らしだけでなく、将来受け取る年金額にも影響してきます。介護はいつまで続くかわからないからこそ、ケアする人の生活設計を立てることが大切です。

これからの時代、誰しも介護の問題を避けては通れません。この機会に、改めてご自身とご家族の未来を具体的に考えてみてはいかがでしょうか？

※1 内閣府「平成28年版高齢社会白書」 ※2 厚生労働省「雇用動向調査」(2014年) ※3 総務省「平成24年就業構造基本調査」
※4 厚生労働省「国民生活基礎調査」(平成25年)

■お問い合わせ先

ソニー生命保険株式会社

仙台ライフプランナーセンター第2支社 第3営業所
ライフプランナー 相続診断士 **土屋 敬** (つちや たかし)
〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡4-2-3 仙台MTビル15F
募集文書登録 SL16-3630-0091

☎022-296-5472 (平日9:00～17:30)

takashi_tsuchiya@sonylife.co.jp 携帯電話 090-9538-2463

*ご記入いただきましたお名前・ご生年月日・ご連絡先につきましては、セミナーご出席の確認ならびにソニー生命およびグループ各社の各種商品の情報提供、サービス等のご案内にのみ利用させていただきます。

土屋敬

検索

<http://www.doyakei.com>

無料

りらく読者限定

ライフプラン
個別相談実施中

生命保険の相談だけでなく、将来の生活設計や老後資金準備、退職金の活用、住宅ローン、相続・贈与、資産運用などについてもお気軽にご相談ください。

■申込方法(完全予約制) / 電話・Eメールにて(左記参照)。名前・連絡先・希望日時・主な相談内容をご連絡ください。